

令和6年度及び令和7年度四半期 重層的支援体制整備事業の取り組みについて

令和5年度から2年間の移行準備期を経て、令和7年度から重層的支援体制整備事業を本格実施した。1.普及啓発・周知、2.人材育成、3.関係機関の連携・ネットワーク強化、4.相談・支援策の構築の4つの柱で事業を実施している。

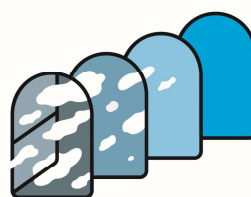
令和6年度は、移行準備期間の取組として先行するヤングケアラー支援の枠組みを活用し、重層事業検討会や支援会議等を開催し、つながる相談窓口の共通ルールやつなぐシート等の帳票類を整備する等、相談支援機関の連携及び支援体制の在り方について検討を行った。また事業説明会や研修等を開催し、関係者による目的意識の共有と支援者の資質向上を図り、包括的な支援体制の強化を図った。

令和7年度は、「つながる相談窓口」の設置など、分野横断的な協働を推進するとともに、区民への周知を図りながら、本人や世帯が抱える地域生活課題や希望に応じた支援が行える体制を構築していく。

1. 普及啓発・周知

(1) つながる相談窓口ロゴマーク作成

▼ロゴマーク（案）



BUNKYO
つながる
相談窓口
Connect & Support Desk

▼ロゴマークの意図

さまざまなモヤモヤ

対象も内容也多岐にわたり複雑化している不安や課題。
誰に？どこに？相談したらいいの？



まずは一步、窓口にふみだしてみて

「BUNKYOつながる相談窓口」に相談。
多機関のつながりによって、相談者に寄り添います。



悩みや不安が晴れていく

今後ロゴマークを用いたチラシやポスター、リーフレットを各支援機関に配布。B-ぐる、区設掲示板でも周知を行う。

(2) 区ホームページに事業を掲載

事業の意義や各事業内容、文京区の特徴的な取組等についてイラストを交えてわかりやすく発信した。帳票類や帳票類の手引き等を掲載した支援者向けのページも作成。

(3) 帳票類作成

既存の区相談窓口及び区内相談支援機関において、従来の法制度に基づいた対象者

以外の方からの相談であっても、まずは“まるごと受け止めてもらう体制”を構築するため、共通ルールや帳票類（つなぐシート等）を作成した。

▼共通ルール（一部抜粋）

包括的相談支援事業（つながる相談窓口） 共通ルール

①区民からの相談を断らない

- 自分の所管でない相談内容も断らずに聞き、関係機関へつなぐ。
- 相談者の属性、世代、相談内容等に関わらず相談を幅広く受け止める。

②関係機関からのつなぎを断らない

- つなぎを受けた課は、適用できる制度・サービスがない場合でも、断らない。どのような支援が適切か、つなぎを行った課と一緒に考える。
- フォーマル資源を活用した短期的な問題解決だけでなく、長期的な寄り添い等、“伴走”^{※1}を意識したインフォーマルな支援を行う。

③“つなぐ”の解釈をボタンタッチ型からスクラム型に変える

- 複合的な課題や制度の狭間（グレーなケース）に対して、互いに連携し、役割分担する意識をもつ。

④相談者に対して、関係機関へ情報提供してもよいか確認を行う（本人同意を得る）

- 本人同意を得た場合は、記録をつける。

⑤所管課間の連携で対応が困難なケースは多機関協働事業^{※2}（支援会議）へつなぐ
<多機関協働事業（支援会議）につなぐ3つのルール>

- 課題が複合的またはグレーで、所管課間のみでは役割分担等が困難なケースを、支援会議へかける。
- 支援会議にかける場合は、インテーク・アセスメントシートを課の判断で提出する。
- 個別ケースを扱う既存の会議体（地域ケア会議、支援調整会議、要対協等）で対応した案件は、既存の会議体で対応する。

▼つなぐシート（表）

～あなたのお悩み受け止めます～

つなぐシート

基本情報

ふりがな	性別			☐ 男 ☐ 女 ☐ 表記以外
氏名	生年月日	() 歳		
住所	〒 文京区			
電話	自宅	携帯		
相談者 （ご本人 以外の場合）	氏名	相談者との 関係	☐ 家族（本人との関係） ☐ その他（本人との関係）	

家族 構成	氏名	年齢	性別	備考

ご相談内容

ご相談されたい内容に○をおつけ下さい。複数ある場合は、一番お困りのことに○をおつけ下さい。			
病気や障害、療養のこと	住まいについて	収入・生活費のこと	
家族や周りの支えのこと	相談や支援制度の支えについて	権利について	
仕事探し、就労について	仕事上の不安やトラブル	地域との関係について	
家族との関係について	子育てのこと	介護のこと	
ひきこもり・不登校	DV・虐待	買えるものがない	
その他（ ）			
ご相談されたいことや配慮を希望されることを具体的に書いてください。			

※つなぐシートは福祉政策課にてとりまとめています。

（４）事業説明会実施

① 令和 6 年度実績

計 8 回

開催日	研修名	対象者	参加人数
4 月 23 日	重層事業説明（訪問による周知）	小石川医師会	17 人
4 月 24 日	重層事業説明（訪問による周知）	文京区医師会	
7 月 2 日	事業説明会	行政職員（教育センターSSW）	22 人
12 月 11 日	事業説明会	行政職員（生活福祉課）	20 人
2 月 28 日	重層事業説明会	行政職員、重層関係機関	43 人
3 月 13 日	重層事業説明会	行政職員、重層関係機関	60 人
3 月 24 日	事業説明会	行政職員（保健サービスセンター、福祉住宅係）	15 人

3月25日	事業説明会	行政職員（保健サービスセンター本郷支所）	10人
-------	-------	----------------------	-----

合計 187 人

② 令和7年度実績（7月31日時点）

計 12 回

開催日	研修名	対象者	参加人数
4月11日	重層事業説明会及び意見交換会	やまて企業組合職員	2人
4月14日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター駒込、駒込分室職員	8人
4月15日	重層事業説明会及び意見交換会	青少年健康センター職員	3人
4月25日	重層事業説明会及び意見交換会	社会福祉協議会（権利擁護センター）職員	5人
5月13日	重層事業説明会及び意見交換会	障害者基幹相談支援センター職員	7人
5月14日	重層事業説明会	行政職員、重層関係機関	66人
5月20日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター富坂・富坂分室職員	4人
6月2日	重層事業説明会（訪問による周知）	保護司会役員	6人
6月3日	重層事業説明会及び意見交換会	高齢者あんしん相談センター本富士・本富士分室職員	10人
7月14日	重層事業説明会	民協副会長	16人
7月23日	重層事業説明会（訪問による周知）	社会福祉法人連携文京区地域公益活動ネットワーク総会職員	21人

合計 148 人

2. 人材育成

（1）区職員・福祉・介護・教育・地域の担い手等への研修実施

① 令和6年度実績

計 13 回

開催日	研修名等	対象者	参加人数
5月22日	庁内職員向け研修	行政職員	42人

6月28日	五者合同研修会/オンライン講演会 テーマ:「ヤングケアラーを知る—子どもが安心して頼れる大人、地域の大切さ—」 講師:成蹊大学文学部現代社会学科教授 澁谷智子氏	青少年委員、教職員、行政職員、保護者	161人
9月17日	福祉職打ち合わせ	行政職員	20人
9月27日	ヤングケアラー支援連携推進事業第1回研修 テーマ:「地域支援者とともにヤングケアラー発見について考える～発見してどうする? チームで支援するとは?～」 《第1部 活動紹介》 ・文京区社会福祉協議会 浦田 愛氏 ・こまじいのうちマネージャー 船崎 俊子氏 ・さきちゃんち運営委員会 代表:八木 晶子氏、副代表:亀山 恒夫氏 ・NPO 法人東京ソテリア (ぶんたね) 塚本 さやか氏、岩澤 摩衣氏 《第2部 グループディスカッション》 <u>「発見」「支援」「つなぐ」「伴走」について話し合う。</u> ・YC に対して自分が出来ること(支援分野) ・支援・相談に当たり困った体験 支援・相談に当たり役に立つ体験談など	行政職員、重層関係機関	88人
10月30日	第1回重層外部研修 仲間づくり編 (集合型研修を含め全6回) ※厚生労働省が開催する令和6年度重層的支援体制構築推進人材養成研修・広報啓発事業活用 テーマ:地域共生社会の研修 ・本人本位の考え方について理解を深める ・わがまちの仲間づくりプロセスを振り返る 主催:株式会社NTTデータ経営研究所		18人
11月1日	重層外部研修 入門編 テーマ:地域共生社会の研修 ・地域共生社会に向けて ・つながりを作るための取組 主催:株式会社NTTデータ経営研究所		23人

11月18日	ヤングケアラー支援連携推進事業第2回研修 テーマ:「事例検討を通してヤングケアラー支援を考える ～チームで支援する、かさなる、つながる～」 講師: 杏林大学地域看護学研究室 教授 大木 幸子氏 第1部 講義 「曖昧さに耐えうるチームであるために」 第2部 ケース紹介・事例検討	38人
11月18日	第2回重層外部研修 仲間づくり編 テーマ: 第1回研修で出された課題の検討 ・各自事例を持ち寄り事例検討 ・集合型研修で発表する事例を決める	20人
11月29日	第3回重層外部研修 仲間づくり編 テーマ: 第1回研修で出された課題の検討 ・第2回で決定した事例の検討 ・課題のワークシート作業	37人
12月13日	第4回重層外部研修 仲間づくり編 テーマ: 第1回研修で出された課題の検討 ・第2回で決定した事例の検討 ・課題のワークシート作業	34人
12月20日	包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修（日本社会事業大学による厚労省委託オンデマンド総合研修を活用） 日程: 12月20日～2月20日 録画配信研修 内容: 各種専門研修全19回 厚生労働省による重層的支援体制整備事業説明等、共通前半（生活困窮者支援・地域福祉）、専門分野①子ども家庭支援、専門分野②障害者支援、専門分野③高齢者支援、共通後半 全体の総括、特別講義/実践発表	23人
1月21日	重層外部研修 仲間づくり編 集合型研修 テーマ: 本人の将来を見据えることの意義について ・本人の10年後、未来を見据えた支援を ・課題の共有、意見交換 講師: ・五十嵐智嘉子氏（一般社団法人北海道総合研究調査会理事長） ・朝比奈ミカ氏（市川市よりそい支援事業がじゅまる+）	7人

	・加藤恵氏（半田市社会福祉協議会） ・宮本氏（尼崎市多機関協働事業担当） 主催：株式会社 NTT データ経営研究所		
2月5日	ヤングケアラー支援連携推進事業第3回研修 テーマ：「ヤングケアラーの語り ケアラーへの支援と伴走」 講師：一般社団法人ヤングケアラー協会 代表理事 宮崎 成悟氏	区民、行政職員、重層関係機関	62人
2月13日	第5回重層外部研修 仲間づくり編 テーマ：集合型研修の振り返り ・本人の将来を見据えることの意義について ・各自治体の課題発表の共有	行政職員、重層関係機関	27人

合計 600 人

② 令和7年度実績（7月31日時点）

計 1 回

開催日	研修名	対象者	参加人数
7月25日	第1回重層的支援体制整備事業研修 テーマ：ぶんきょうチームでまるごと支援研修 講師：特定非営利活動法人まつど NPO 協議会 理事 阿部 剛氏	行政職員、社協職員	25人

合計 25 人

3. 関係機関の連携・ネットワーク強化

（1）関係機関等の視察

- ① 重層的支援体制整備事業・ヤングケアラー連携推進に係る相談および支援機関の視察、Re なでしこ、こまじいのうち、ぶんたね、定泉寺子ども食堂、さきちゃんち、ケアギルド東京
- ② 他自治体の事業視察
 - ・国分寺市重層的支援体制整備事業
 - ・品川区ヤングケアラー喫茶事業
 - ・港区ヤングケアラーサポーター事業
 - ・横浜市「ヨコラボ 2024」
 - ・横浜市「令和7年度横浜市学校人権教育推進協議会総会」
- ④ 地域づくり PT による検討
社会福祉協議会、高齢福祉課、福祉政策課、障害福祉課、生活福祉課、子育て支援課

(2) 文京区重層的支援体制整備事業関係者連絡会

① 令和6年度実績（ヤングケアラー支援対策関係者連絡会にて検討）

	開催日	主な報告・検討事項等
第1回	8月23日（金）	・ 重層的支援体制整備事業について ・ 意見交換会
第2回	1月24日（金）	・ 重層的支援体制整備事業について ・ 意見交換会

② 令和7年度実績（8月22日時点）

	開催日	主な報告・検討事項等
第1回	8月22日（金）	・ 重層的支援体制整備事業の実施報告について ・ 意見交換会

(3) 文京区重層的支援体制整備事業関係者連絡会作業部会

① 令和6年度実績（ヤングケアラー支援対策関係者連絡会作業部会にて検討）

	開催日	主な報告・検討事項等（重層事業に関するものを記載）
第1回	4月26日（金）	・ 重層的支援体制整備事業の概要について ・ 重層的支援体制整備事業の対象事業に係る調査の結果報告 ・ 重層事業の相談受付・申込票に関する資料について ・ 意見交換
第2回	6月28日（金）	・ 重層的支援体制整備事業の実施に係る既存会議体の調査結果共有 ・ 重層的支援体制整備事業に係るガイドライン及び帳票類について ・ 重層事業年間スケジュールについて
第3回	7月26日（金）	・ 重層的支援体制整備事業の帳票類について ・ 重層的支援体制整備事業に関する既存会議体の調査結果について ・ 重層的支援体制整備事業に関する研修について
第4回	9月27日（金）	・ 重層的支援体制整備事業におけるつなぐシートについて ・ 重層的支援体制整備事業外部研修のスケジュールについて
第5回	11月29日（金）	・ 次年度以降の会議体について ・ オンラインストレージサービス BOX の導入について

第 6 回	12 月 13 日（金）	・ぶんきょうチームでまるごと支援（重層的支援体制整備事業）における個人情報の取り扱いについて ・つなぐシート等の帳票類及びまるごと支援会議（重層的支援会議）について ・会議体及び研修の調査について ・ホームページの作成について ・2024 年度厚生労働省委託オンデマンド総合研修について
第 7 回	2 月 13 日（木）	・つなぐシート等の帳票類及びまるごと支援会議（重層的支援会議）について ・つなぐシート活用窓口について ・委託先等が重層的支援会議・支援会議に参加する場合の所管課への報告について ・令和 6 年度重層検討ケース概要 ・令和 7 年度支援会議開催日について

② 令和 7 年度実績（7 月 31 日時点）

	開催日	主な報告・検討事項等（重層事業に関するものを記載）
第 1 回	4 月 25 日（金）	・令和 7 年度重層的支援体制年間スケジュールについて（研修、支援会議、事業説明会等の詳細含む） ・支援会議開催予定の事例について ・「Ⅰ．包括的相談支援事業」に係る相談数等の集計依頼について ・つなぐシートの活用方法について
第 2 回	6 月 27 日（金）	・重層的支援体制整備事業に係る統計の集計依頼について ・令和 7 年度受理事例について ・ぶんきょうチームでまるごと支援研修について ・「BUNKYO つながる相談窓口」ロゴマークについて

（3）支援会議等

① 令和 6 年度実績

支援会議（他会議体活用、オブザーバー参加含める） 9 回

② 令和 7 年度実績（7 月 31 日時点）

支援会議（他会議体活用、オブザーバー参加含める） 5 回

4. 相談・支援策の構築

積極的に地域に出向き地域団体等と顔の見える関係性を築くとともに、地域づくり事業と関係が深

い庁内外関係機関の会議等に参加し、地域資源の把握と開発に努めた。

- 【庁内】文京プロジェクト、ひきこもり支援従事者連絡会、障害のある中高生の居場所づくりに係る打ち合わせ、生活困窮者自立支援事業支援調整会議、要保護児童対策地域協議会実務者会議、生活支援コーディネーター定例会議、高齢者あんしん相談センター質の向上研修、ひきこもり支援従事者養成研修、教育と福祉の連携と課題、DV 被害者等支援庁内連携会議の研修、文京区自殺未遂者等のハイリスク者支援のあり方を考えるための意見交換会、離婚前後の家庭支援に関する知識習得研修、離婚に関する研修 他
- 【庁外】権利擁護支援連携協議会実務者会議、地域の子育てサポート連絡会円卓会議、子ども食堂連絡会、本富士地区弁護士連絡会、文京区地域公益活動ネットワーク総会、地域共生社会の在り方検討会議、日本自殺総合対策学会 2025 年夏季講演会、さきちゃんち運営委員会 他